

# 「食と農」の博物館 展示案内

No.18  
東京農業大学「食と農」の博物館  
〒158-0098 東京都世田谷区上用賀2-4-28  
TEL.03-5477-4033 FAX.03-3439-6528

開館時間 午前10時～午後5時(4月～11月)  
休館日 午前10時～午後4時30分(12月～3月)  
月曜日(月曜が祝日の場合は火曜)・毎月最終火曜日  
大学が定めた日(臨時休業がありますのでご注意ください)

展示期間  
**2007.1.18～4.10**

## 植物標本 東京農業大学のタイプ標本



### はじめに

植物標本は、採集した植物を新聞紙に挟み、プレスした状態で乾燥させたものです。これを一般には、さく葉標本(押し葉)といいます。

植物が生きていたときの立体的な形状や色は失われてしまいますが、何と言っても実物であり、実物が持つ情報量は、写真や図などの及ぶ所ではありません。

植物標本の収集・作製の目的や意義は、1) 学名命名の証拠標本として、2) 研究の証拠資

料として、3) 生物多様性・生物地理・生態学的研究のための資料として、4) 歴史的証拠・資料として、5) 同定のための参考資料があげられます。

未知の新しい種類を発見し、それに学名をつけ、特徴を書いた記載文とともに発表します。

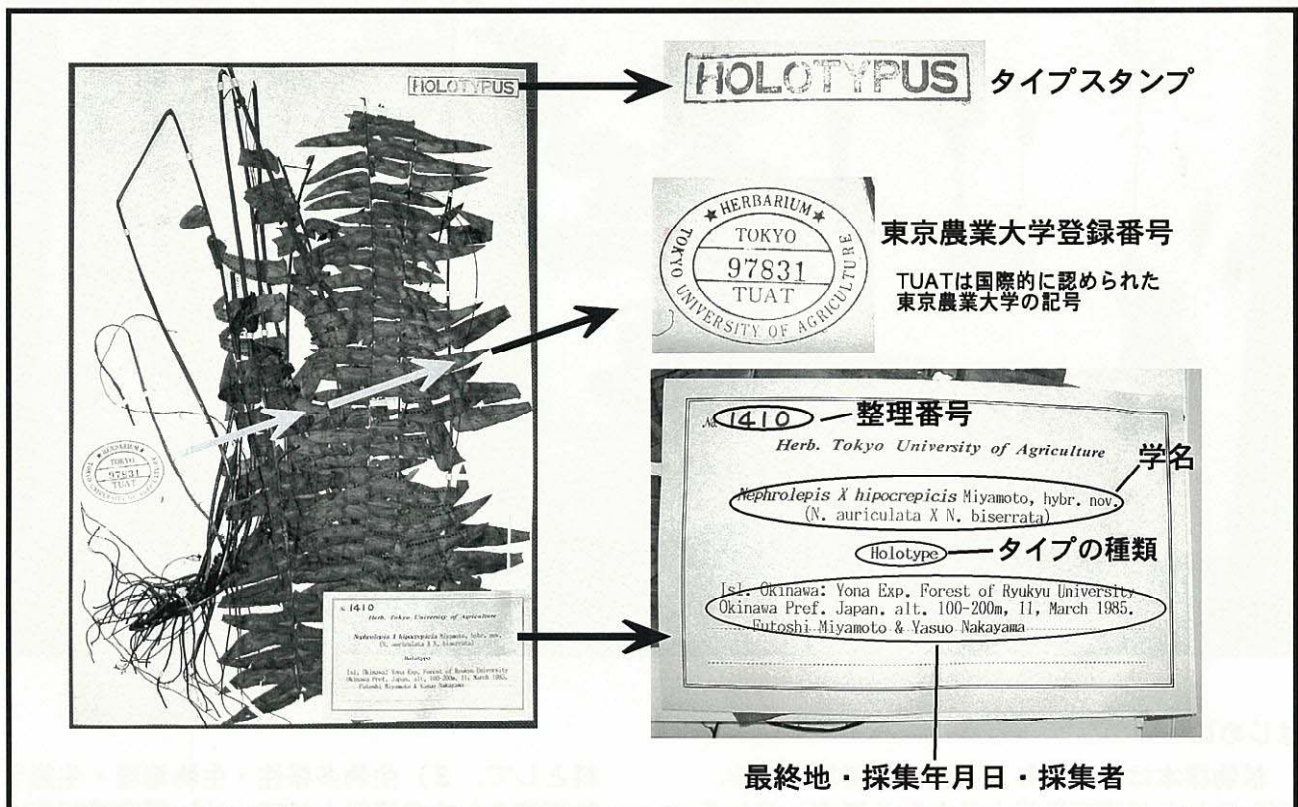
その際、命名の基として一点の標本を選んで同時に引用します。これがタイプ標本(基準標本 Type specimen)、厳密にはホロタイプ(正基準標本 Holotype) といいます。



## タイプ標本の種類

Holotype	ホロタイプ	(正規準標本)	命名者が命名法上のタイプとして使用・指定した1枚の標本
Isotype	アイソタイプ	(副規準標本)	ホロタイプの重複標本
Syntype	シンタイプ	(等価規準標本)	命名者がホロタイプを指定せずに複数の標本を引用した場合の、そのすべての標本
Lectotype	レクトタイプ	(選定基準標本)	命名者がホロタイプを指定しなかったか、またはホロタイプが失った場合にホロタイプの変わりに選定された1枚の標本
Paratype	パラタイプ	(従規準標本)	タイプが指定されている場合、原著論文に引用されている残りの標本
Neotype	ネオタイプ	(新規準標本)	ホロタイプもアイソタイプもシンタイプも失われた場合に、新たに指定されたタイプ標本

## 標本の見方



## 東京農業大学タイプ標本数

Holotype 12, Isotype 30, Syntype 7, Paratype 108 / Total 157